

平成17年度 事務事業評価表					
(様式1)					
記入年月日	平成17年4月22日			記入者	内線
部 名	保健福祉部	課 名	高齢者福祉課	課長名	
事務事業名	あじさい(高齢者)大学運営事業				
予算上の事務事業名	あじさい(高齢者)大学運営費				
1 総合計画における位置づけ	施策コード			11220	
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政 策 名	第1章 安心して生活できる福祉社会をつくります				
基本施策名	第2節 いきいきとした高齢社会の創造				事業開始年度
施 策 名	第2施策 高齢者の社会参加と生きがいづくり				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
あじさい大学設置運営要綱					
3 個別計画の概要			概要		
計画名	高齢者保健福祉計画		高齢化が進む中で、社会参加と生きがいづくりの推進が必要であり、あじさい大学の充実を図る。		
計画年次	15	年度～	19	年度	
4 事業形態の区分 研修・講座 ▼					
5 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)			(2) 対象(誰、何)		
高齢者の方々が、心身共に健康で生きがいと喜びに満ちた生活を送るため、学習活動を通じて仲間づくりと知識・技能の習得を図り活力ある社会の発展に寄与することを目的とし、あじさい(高齢者)大学を開設している。本格的な高齢社会をむかえるなかで、高齢者の学習の機会の提供や仲間づくりをすすめることにより、健康で生きがいを持って暮らせる社会活動の参加促進をはかる。			市内に住所を有する60歳以上の高齢者		
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
定員 912人 入学申込者数(抽選) 1,959人(倍率2.15) 会場 あじさい会館、若竹園、けやき体育館、ソレイユさがみ、ウエルネスさがみはら、青少年学習センター、れんげの里あらいそ 入学式、修了式(修了者数850人 修了率95.7%) 運営委員会(年2回) 委員長懇談会(年2回) 学生・OB交流作品展(18日間 入場者数2,952人) 夏季・秋季公開講座(4日間 参加者 776人) OB活動の支援(あじさい会館第1和室の専用開放) 受益者負担の導入検討(平成17年度から年額6千円の受講料)					
6 関連・類似事業や他市の状況					
他自治体も同様な目的で実施している。他市と比較し、実施回数や期間は同等以上の実施をしている。事業の実施方法については、生涯学習財団や社会福祉協議会・社会福祉事業団等に委託し効率化を図っている自治体もある。					
7 事業費の推移 [単位:千円]					
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	23,343	17,976	22,538	34,293	34,293
一般財源	23,343	21,000	11,269	13,847	13,847
受益者負担金	0	0	0	6,600	6,600
その他の特定財源	0	0	11,269	13,846	13,846
人件費の合計	20,476	21,316	24,603	22,586	22,586
事業コスト合計(a)	43,819	39,292	47,141	56,879	56,879
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	あじさい大学運営事業			対象名称(単位)	受講者数(人)
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	43,819	39,292	47,141	56,879	56,879
対 象 数	778	888	912	1,100	1,100
単位あたり経費(円)	56,323	44,248	51,690	51,708	51,708
前年度比		0.79	1.17	1.00	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	定員の設定数	指標式と指 標の説明	目標定員/定員 (%)	目標定員に対する定員の充足率	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	778.0	888.0	912.0		
目標	800.0	900.0	950.0	1,100.0	1,100.0
目標達成度	0.97	0.99	0.96		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	修了率	指標式と指 標の説明	修了者数/受講者数 受講者のうち修了者率で対象者の熱意をはかる。		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	96.4	95.7	95.7		
目標	97.0	97.0	97.0	97.0	97.0
目標達成度	99.4	98.7	98.7		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
有	<input checked="" type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実		高齢者の増加に伴い、生きがいづくり・仲間づくり・高齢者の社会参加を促すことが必要であり、介護予防の観点からも事業の拡充をはかる必要がある。民間活力の導入については、経費の面の比較も行いつつ、今後その可能性について検討していく。	
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
高齢社会の中で、受講希望者の増大が見込まれることから、定員・学科・会場の増設に伴う環境整備や短期講座や公開講座の開催の増等の対応とし、更に、あじさい大学修了後も自主的に継続するOB活動の支援に努める等社会参加を促進し、併せて介護予防を図る。			受講希望者の増大に対応する会場等の確保・整備等		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			